

「ふしぎなお話カード」をつくろう

～不思議な出来事が起きる物語を読もう～

3年 国語

「ゆうすげ村の小さな旅館」

資料の活用・読書指導

ねらい

- 不思議な出来事が起きる本を読み、物語のしかけを見つけながらお話を楽しむことができる。
- ブックトークを聞き、興味を持って読むことができる。

学習展開

- ① 「ふしぎなお話カード」と学習計画表を示し、単元の見通しを持つ。
- ② お話のしかけに興味があくように、クイズを取り入れながら、不思議な出来事が起きる物語のブックトークを聞く。
- ③ 単元の学習と並行して読む本を選ぶ。
- ④ 読んだ本の中から物語のしかけを見つけ「ふしぎなお話カード」に記入する。



学校司書のブックトークを聞く



ふしぎなおはなしカードを展示

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教員と相談し授業のねらいにそった本を複数揃える。
- 学校司書は、ブックトラックに不思議なお話コーナーを設け、教室での授業にもすぐに対応できるようにする。
- 司書教諭は、担任と学習計画や本の内容について打ち合わせする。
- 司書教諭と学校司書は、迷っている児童にアドバイスを。

★指導のポイント

- ◆ ブックトークで紹介した本だけでなくブックリストもあわせて作成しておく。
- ◆ 読んだ後に、本を紹介しあったり感想を聞きあったりすると、読書への意欲が高まる。
- ◆ 完成した作品は、本と一緒に図書館に展示し他学年へもつなげる。

資料

「つるばら村の洋服屋さん」ほかシリーズ/茂市久美子（講談社）、 「トチノキ村の雑貨屋さん」/茂市久美子（あすなる書房）、「白いぼうし」/あまきみこ（ポプラ社）、「またたびトラベル」/茂市久美子（学習研究社）「ねこじゃら商店へいらっしやい」/富安陽子（ポプラ社）、「かくれ山の冒険」富安陽子（P H P 研究所）などファンタジーの要素を持った本